

報道機関 各位

## 令和7年度全国学生交流会を開催します

岐阜大学と金沢工業大学は、COC(Center of Community) 事業・COC+事業関係大学等をはじめ、地域をフィールドとした地域志向活動に取り組んでいる全国の大学・高等専門学校が参加する「全国学生交流会」を毎年開催しています。

本交流会では、参加学生がそれぞれの地域志向活動の様子や成果を発表することで、お互いに刺激し合い、新たな視点で学びを深めます。学生たちは他大学の学生との交流を通じて、さらなる地域志向活動の発展や自身のキャリアアップを目指します。

つきましては、当日の取材についてよろしくお取りはからい願います。

### 記

日 時 2026年2月28日(土) 13:00~16:30  
会 場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)1102 会議室  
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)  
視 聴 オンライン(Zoom ウェビナー)  
参加大学 7大学 (以下、発表順)  
岐阜大学、日本福祉大学、信州大学、島根大学、中部大学、  
徳島大学、金沢工業大学

※詳細は、次ページ以降のプログラムを参照してください。

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

[https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu\\_miraie.html](https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html)



岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。



東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

### 問い合わせ先

岐阜大学 地域連携推進本部 地域協学センター  
TEL: 058-293-3880 FAX: 058-293-3881  
E-mail: ccsc@t.gifu-u.ac.jp

# Press Release

## <プログラム>

時間	内容
13:00-13:05	開会
13:05-13:10	開会挨拶 岐阜大学
13:10-13:15	概要説明
13:15-13:30	発表① 岐阜大学①(会場)
13:35-13:50	発表② 日本福祉大学(会場)
13:55-14:10	発表③ 信州大学(会場)
14:10-14:25	休憩
14:25-14:40	発表④ 島根大学(オンライン)
14:45-15:00	発表⑤ 中部大学(会場)
15:05-15:20	発表⑥ 岐阜大学②(会場)
15:20-15:35	休憩
15:35-15:50	発表⑦ 徳島大学(会場)
15:55-16:10	発表⑧ 金沢工業大学(会場)
16:15-16:30	講評・閉会挨拶 金沢工業大学
16:35-18:00	交流会・現地+オンライン(発表大学の学生・教職員対象)

## <発表概要>

発表順	大学名	タイトル	概要
1	岐阜大学① (会場)	瑞浪市平山の魅力を伝える「家族で楽しむ冬のぼかぼか自然体験 in 平山」の取り組み紹介	岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム・地域リーダーコースの活動として、瑞浪市釜戸町平山区を対象に地域の方々とともに、地域の魅力発信に取り組みました。 瑞浪市釜戸町平山は人口100人程度の中山間地区。豊かな自然と人の温かさを感じてもらう機会を作ろうと、「家族で楽しむ 冬のぼかぼか自然体験 in 平山」を企画・実施しました。特産品のマコモを含む草木染や、焚火体験を楽しんでもらうことができました。

## Press Release

2	日本福祉大学 (会場)	認知症にも優しい地域を目指して～トイレットペーパーで認知症啓発～	社会福祉学部 2 年次科目「フィールド実践演習(斎藤クラス)」では、「認知症啓発」をテーマに、1 年間通して PBL(Project Based Learning)の手法を用いた小集団活動を実践してきました。本グループは、福祉職や高齢者の方の意見を参考に、生活の中で自然と手に取れる“トイレットペーパー”に着目して、認知症支援者や同居家族の手助けとなるオリジナルキャラクターを用いたトイレットペーパーの制作を行いました。認知症にも優しい地域(Dementia Friendly Community)と関連して、福祉職や企業と連携したプロジェクト活動における学びを発表します。
3	信州大学 (会場)	ユーザー視点で持続可能な地域の交通を協創する信州大学 Maas ゼミ	信州大学 MaaS ゼミは、MaaS(Mobility as a Service)を「Move as a Service」の視点から再解釈し、地域課題の解決に取り組む実践型ゼミです。交通を単なる移動手段としてではなく、観光・健康・商業・福祉などと結びつけ、「移動×地域価値」の創出を目指し、フィールドワークや調査、政策・事業提案を行っています。信州大学を中心に、富山大学、金沢大学と連携し、広域的な視点で研究を展開しています。活動は長野県白馬村、東御市、松本市、岐阜県養老町、愛知県豊田市などで実施し、学生の視点を軸に企業・自治体と協働しています。本発表では、各地域での実践成果と今後の展望についてご報告します。
4	島根大学 (オンライン)	大森の湯 再生プロジェクト	島根大学(地域人材育成コース生)では、地域と協働して課題解決や魅力創造に取り組むプロジェクト(通称:コープロ)を 1 年次の半年間を用いて活動しています。2025 年度は 15 のプロジェクトが結成され、そのうちの 1 つが地域内外への波及効果が最も期待される取り組みである「大森の湯 再生プロジェクト」です。本発表では、その結果と学びを報告します。

# Press Release

5	中部大学 (会場)	「学生主体の標準化教育」	<p>中部大学 ESD エコマネーチームでは、SDGs やスマート社会の実現、標準化教育をテーマに、学生主体でさまざまな活動に取り組んでいます。2025年度は、SDGs、スマート技術、レジリエンス、エシカル消費に関する教材づくりや啓発イベントを行い、企画力や実務力、表現力など、メンバーそれぞれが大きく成長できました。2026年度は、JIS Q 42001 をもとにした AI×情報分野の教材開発や標準化教室の開催を計画しており、より実践的な学びに挑戦していきます。</p> <p>本発表会では、私たち学生チームの幅広い活動や、その中で得た学びについて紹介します。</p>
6	岐阜大学② (会場)	岐阜県関市とベトナム・フエ市の観光資源の課題をグローバルな視点から考える	<p>岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム・グローバルリーダーコースの活動として、関市板取にある観光名所「モネの池」の活性化を目指して、関市役所、関商工高校や㈱タイムック、地域の方々の支援のもと独自企画『モネの池テラス』を実践しました。</p> <p>さらに 3 月にはベトナム・フエ研修を通して、フエ大学の学生と一緒に提案する観光ツアーを検証し、海外の観光資源についても学びます。</p>
7	徳島大学 (会場)	地域型インターンシップにおける受講生とサポーター組織の挑戦	<p>本発表は、徳島大学 COC+R 事業発の学生団体「地域実践研究会 NOROSHI」による実践報告である。同団体は「地域と学生を情報発信でつなぐ」をミッションに掲げています。本発表では、徳島県内の様々な地域(牟岐町など)で展開してきた「実践型インターンシップ」の成果を報告します。特に、単なる一参加者としてではなく、学生と地域おこし協力隊などの地域プレイヤーを強固に繋ぐ「サポーター」として NOROSHI がどのように関わってきたか、その仕組みと現場での課題について共有します。「自分たちが面白いと思うこと」を地域でやり続けるマインドや活動モデルを言語化し、全国の学生が各地域で活用できるヒントを提示します。</p>
8	金沢工業大学 (会場)	生徒の ICT リテラシーを高める	<p>Science Project for Children では、小中高生を対象とした科学・技術講座を企画・実行し、生徒の STEM への関心を高めることを目的とし、大学近辺の学校への科学・技術に関する出前講座、自治体等が企画する講座への参画を行っています。今年度は、プログラミングを中心とした出前講座を行ったことに加え、企業連携や大学生向け講座にも取り組み、活動の幅を広げている。ここでは、その取り組み内容を紹介します。</p>